

平成29年9月14日

1 平成29年度区外施設定期監査指摘事項の措置状況

教育委員会事務局

指摘事項	措置状況
<p>備品の管理について、施設維持管理委託契約の仕様書では、「学校運営課が提供する備品リストにおける備品管理を行う。」となっているが、備品リストが学園内の場所ごとに区分されていないため実地棚卸を行っていなかった。</p> <p>(学校運営課)</p>	<p>備品リストについては、昨年度より着手しているものの、基礎資料の備品一覧（財務情報システム）が学園内の場所ごとに区分されていないため、棚卸しに時間を要し、完成に至っていない。</p> <p>今年度中を目途に、備品管理用のリストを完成させ、適正な備品の管理を行っていく。</p> <p>(学校運営課)</p>

2 平成29年度区外施設定期監査意見・要望事項の措置状況

教育委員会事務局

意見・要望事項	措置状況
<p>(1) 自然宿泊体験教室事業について</p> <p>【前文省略】</p> <p>施設の低い利用状況が続いていることや他区の類似施設の設置状況（特別区の統計（28年度版）では、高原学園（林間学園等）の設置区は本区を含め19区、臨海学園の設置区は本区を含め4区、両施設を含め2施設を設置している区は、本区を含め19区中7区である。林間学園1施設平均収容定員266人（目黒区246人）、臨海学園220人（目黒区190人）となっている。）、維持管理経費の負担状況、本区の児童・生徒数規模、財政状況等を踏まえ、これまでの実績の検証・評価、課題の整理を行い、2施設体制の見直しについて、中長期的な視野で総合的に検討されたい。</p> <p style="text-align: right;">(学校運営課)</p>	<p>自然宿泊体験教室は、自然と触れ合う機会の創出や集団生活による協調性や規範意識の育成等を目的として、平成23年度から完全実施している。</p> <p>ここ数年の自然宿泊体験教室の参加児童数・生徒数はほぼ横ばいであるが、近年、児童数は増加傾向にあり、また、一部の中学校では、生徒数の増加により、他自治体の施設を借上げて分泊している状況もある。</p> <p>また、年度毎の工事費によって総運営費は変動するが、基本的な施設運営費に大きな動きは見られない。</p> <p>このような状況下で、小・中学校を通じて10泊14日の自然宿泊体験教室は、児童・生徒が都市部では体験しがたい海、山といった自然環境での学習を行うことで、その目的を十分達成しているといえる。</p> <p>また、両学園とも、単なる宿泊施設としてだけでなく、雨天時の体験学習を行う学習の場としての側面を持つなど、自然宿泊体験教室において重要な役割を果たしている。</p> <p>しかし、厳しい財政状況が続く中、2つの施設を維持する意義や適切な施設運営体制について、今後の児童数・生徒数の推移や、一般利用を含めた施設の稼働</p>

	<p>率、施設の老朽化に伴う修繕費用の増加状況、他区の施設設置状況などを見ながら、区有施設の見直しの中で、中長期的な視点で検討を重ねていく。</p> <p>(学校運営課)</p>
--	---

2 平成29年度区外施設定期監査意見・要望事項の措置状況

教育委員会事務局

意見・要望事項	措置状況
<p>(2) 一般利用について</p> <p>【前文省略】</p> <p>上記(1)の自然宿泊体験教室事業の検討と合わせて、利用実態やコスト等について検証・評価を行い、一般利用については、冬季の利用制限について検討されたい。</p> <p>また、学園内には体育館もあることから、区立学校等及び区内団体等が利用しないときに、区外の団体等の研修等での利用に関し、目黒区立林間学園条例第4条(利用の範囲)第2項の規定に基づく一般利用の利用範囲に係る条例・規則上の取扱いについて、維持管理コスト等を含め検討されたい。</p> <p>(学校運営課)</p>	<p>直近3年間の目黒区八ヶ岳林間学園(以下、「林間学園」という。)の冬季(11月～3月)の一般利用状況は、平成26年度延べ14人、同27年度延べ44人、同28年度延べ0人と、夏季と比較して利用人数が少ない傾向が続いている。</p> <p>このため、林間学園の冬季利用については、当面、施設の有効利用の観点から、一般利用促進の施策を検討することが望ましいと考える。まずは、ホームページへ林間学園利用可能日の掲示、電子メールによる林間学園利用に関する問合せ対応など、利用者の手続きの利便性向上を図ることとする。</p> <p>林間学園体育館の区外団体への貸出しについては、体育館利用に限った利用料の設定、体育館利用を承認できる団体と利用目的の範囲を条例、規則で明確に定める必要があるなどの課題が想定される。</p> <p>体育館の一般利用については、課題を整理しつつ、施設の有効活用とともに歳入確保策の一つとして、その実現に向けて検討していく。</p> <p>(学校運営課)</p>

平成29年9月14日

2 平成29年度区外施設定期監査意見・要望事項の措置状況

教育委員会事務局

意見・要望事項	措置状況
<p>(3) 施設管理について</p> <p>ア 外部への避難口の表示を見やすいように掲示されたい。</p> <p>イ 前回の25年度の監査実施以降、26年度に照明LED化工事、27年度に浄化槽ばっき用送風機機能整備工事、天井非構造部材落下防止対策工事が実施されるなど、施設管理の見直し・改善に努めてきたことは評価できるものである。引き続き施設の適切な維持管理に努められたい。</p> <p>(学校運営課)</p>	<p>ア ステッカーを扉に貼付するなどして、避難口の確認がしやすくなるように工夫をする。</p> <p>イ 施設の状況を的確に把握し、施設課と協力をして、引き続き適切な維持管理に努めていく。</p> <p>(学校運営課)</p>